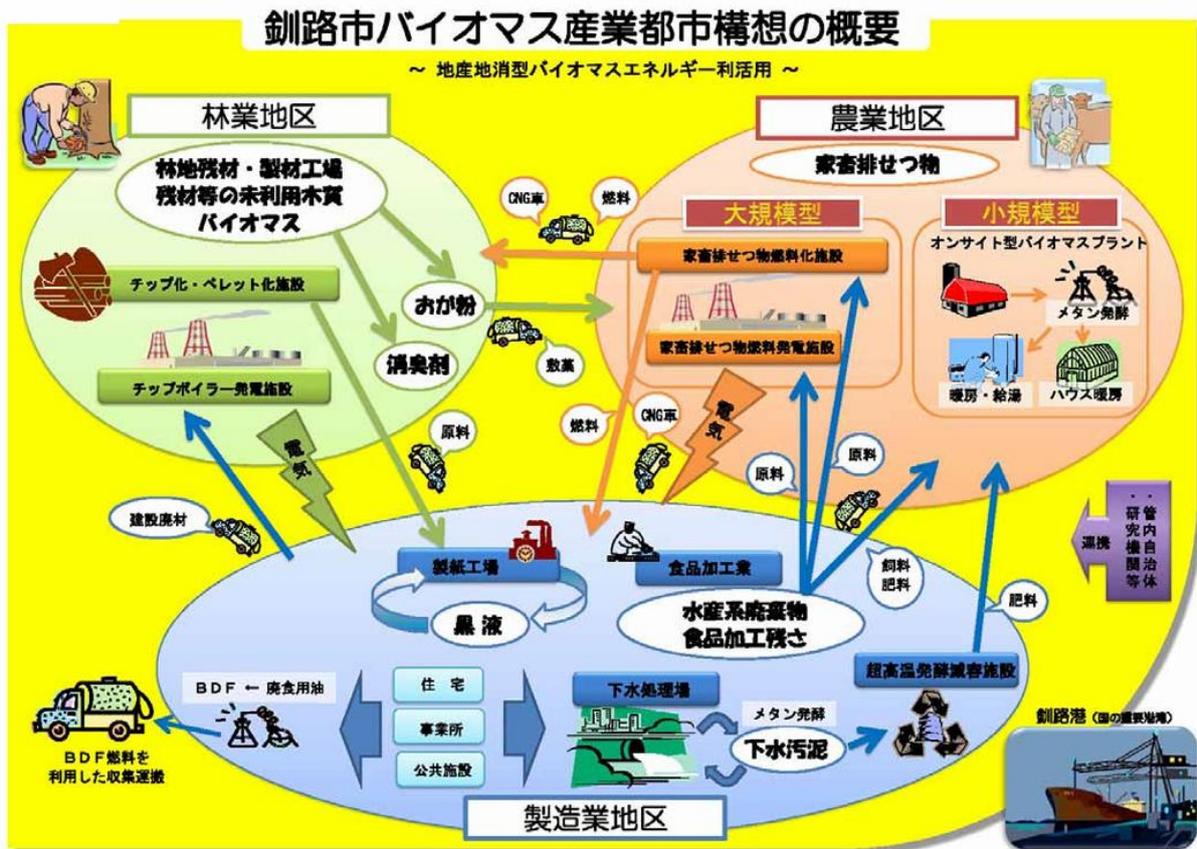


北海道釧路市

住所	〒085-8505 北海道釧路市黒金町7丁目5番地
市長	鶴間 秀典
HP	https://www.city.kushiro.lg.jp/
バイオマス産業都市選定年度	2013年度
バイオマス産業都市構想	https://www.city.kushiro.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/364/000165673.pdf
担当部署	産業振興部 農林課
連絡先 TEL	0154-31-2552
連絡先 E-mail	no-nourin@city.kushiro.lg.jp



I 事業化プロジェクト

表 1 プロジェクト一覧表

項目	名称	現状
プロジェクト 1	メタン発酵(乳牛のふん尿、敷料)	実施中

事業化プロジェクトの概要

プロジェクト1	メタン発酵(乳牛のふん尿、敷料)	
実施主体	JA阿寒 http://www.ja-akan.or.jp/?page_id=2	
使用する技術	☑メタン発酵バイオガス発電 ☑堆肥化	
概要	乳牛ふん尿や敷料を原料としてバイオガスを生成。食品工場での熱利用を行うほか、車両燃料としての利用についても検討。液肥・敷料は農地及び畜舎で利用。	
項目	計画値	実績値 (2023 年度)
原料:乳牛のふん尿 利用量(t/年)	54,750	45,095
原料:敷料 利用量(t/年)	730	366
バイオガス発電量(kwh)	1,431,822	1,094,289
バイオ液肥生産量(t/年)	53,838	32,911
事業の進捗状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・2014 年に「再生可能エネルギー熱利用高度複合システム案件形成調査事業（経産省）」により施設導入の検討を実施。 ・2016 年に「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業/事業性評価（FS）（NEDO）」により施設導入の検討を実施。 ・2018 年に「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業/実証事業（NEDO）」が採択され 2019 年度の施設導入に向けて準備。 ・「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業/実証事業（NEDO）」により施設導入が完了。施設の実証結果を 2022 年 2 月に報告完了。 ・2020 年 3 月に釧路市有機質肥料活用センターバイオガスプラントが稼働 ・2022 年度、阿寒マイクログリッドによるバイオガスプラント施設完成。2023 年度から稼働。 ・2023 年度、FIT 用第 2 発酵槽完成し、2024 年 7 月より FIT 売電（出力 350kwh）開始。 		
成功要因と波及効果		

・成功要因

既存施設を最大限活用したことによるイニシャルコストの削減。

エネルギーの地産地消と良質堆肥や液肥の活用により、酪農家の営農コストが大きく低減された。

・波及効果

地区内での家畜糞尿処理の考え方が変化しているものと推察する。

今後の検討

肉牛のふん尿を原料としたメタン発酵を行い、主に熱利用について検討を行う。



原料受入施設



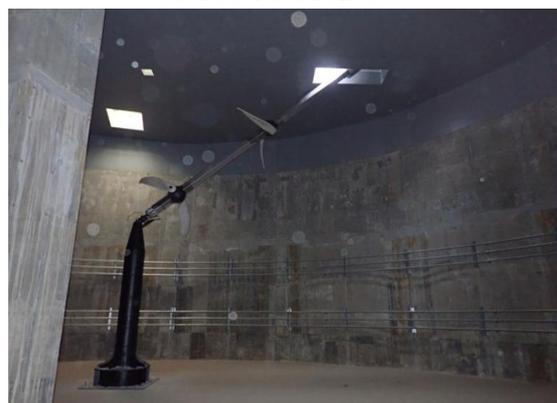
温水貯湯槽



原料移送ポンプシステム



原料固液分離機



発酵槽外観



発酵槽内部攪拌機



消化液固液分離機



ガスバック

生物脱硫装置



ガス発電機100kw



ガス発電機50kw



ガスボイラ



原料受入施設外観



原料固液分離後の固形分

II 脱炭素化の取組状況や取組方針

II-1 地域における脱炭素に関する計画について

計画名称等	策定年度（選定年度）
地方公共団体実行 計画 （区域施策編）	令和5年度改定 https://www.city.kushiro.lg.jp/machi/kankyuu/1004257/1014136.html
ゼロカーボンシティ宣言	令和2年度 https://www.city.kushiro.lg.jp/machi/kankyuu/1004263/1004289/1004290.html
デコ活アクション大喜 利大会環境大臣賞	令和6年度 https://www.env.go.jp/press/press_03342.html

II-2 地域における脱炭素化に関する取組の概要

・再生可能エネルギーの推進

本市における脱炭素社会の形成を実現するとともに、地域経済の循環構造を構築し住民所得の向上を図ることを目的として、再生可能エネルギーの導入に向けたロードマップとなる「釧路市再生可能エネルギー基本戦略」を策定。

・家庭向けの省エネ推進

家庭のエネルギー利用を効率化する設備に対し、設置費の助成の実施。

（対象設備は定置用蓄電池、家庭用燃料電池、ガスコジェネレーションシステム）

・脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」の取組

2023年12月25日に釧路市・釧路町・釧路信用金庫で一斉にデコ活に宣言し、3者共催による普及啓発のイベント等を開催。また、その取組について環境省より、「**デコ活アクション大喜利大会**」の環境大臣賞を受賞。

アイデア部門

釧路市×釧路町×釧路信用金庫

釧路市・釧路町・釧路信用金庫は、3者で一斉にデコ活宣言したことにより、地域の新聞（釧路新聞）でも大きく取り上げられました。この際にオリジナルのアクション標語パネルも紙面に掲載されたことで、地域の皆さんに広く知っていただくことができました。

また、釧路地域一丸となってデコ活に取り組むため、釧路市の環境部局はインスタグラムで公式アカウント（@ecocity946）を展開し、脱炭素につながる暮らしや地球にやさしいライフスタイルなどを、ハッシュタグ「#デコ活」をつけて紹介しています。アクション標語についても、世代を問わず多くの方に知っていただけるようにSNSを活用して訴求を図っています。

今後も3者協力のもと、イベントの共催やポスター・フライヤーへの記載等、周知方法の検討を進めていきます！

デコ活アクション大喜利大会

<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/slogan/>)より